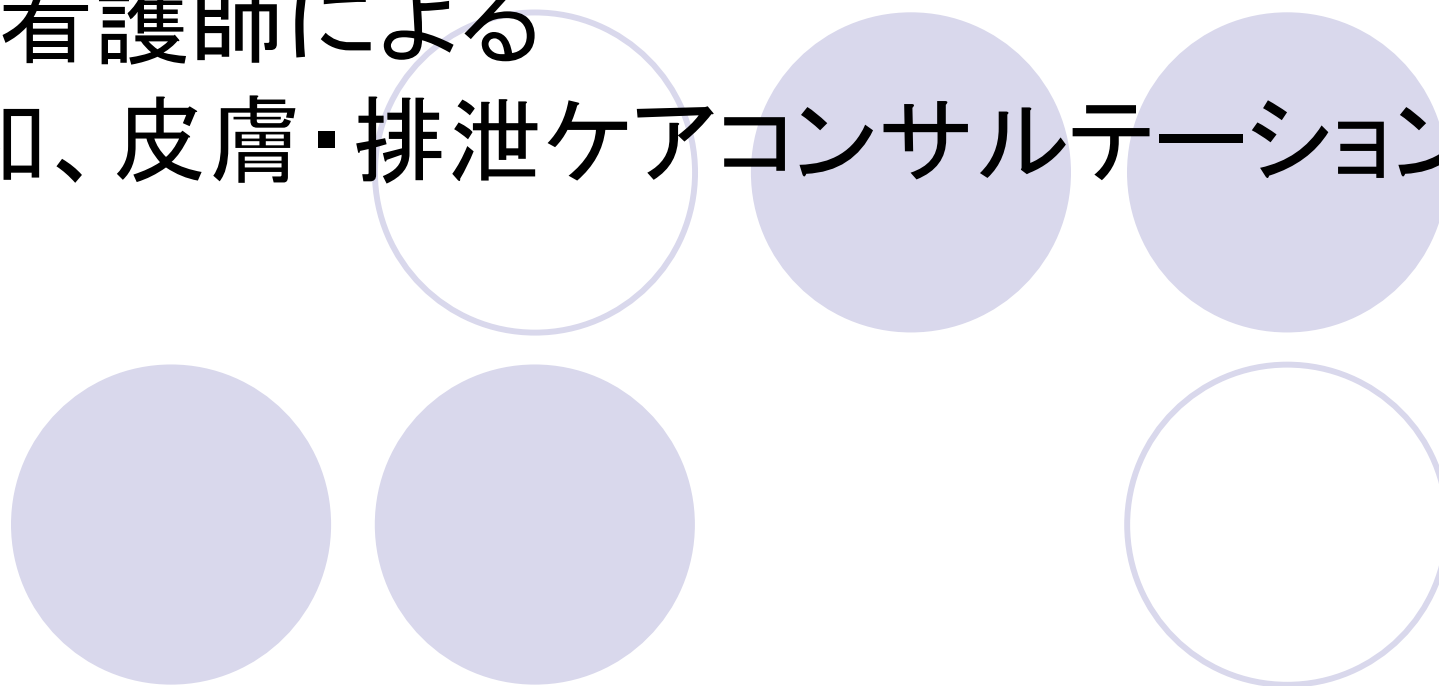


地域の他の訪問看護ステーションとの共同実施—ネットワーク化—

認定看護師による

緩和、皮膚・排泄ケアコンサルテーション



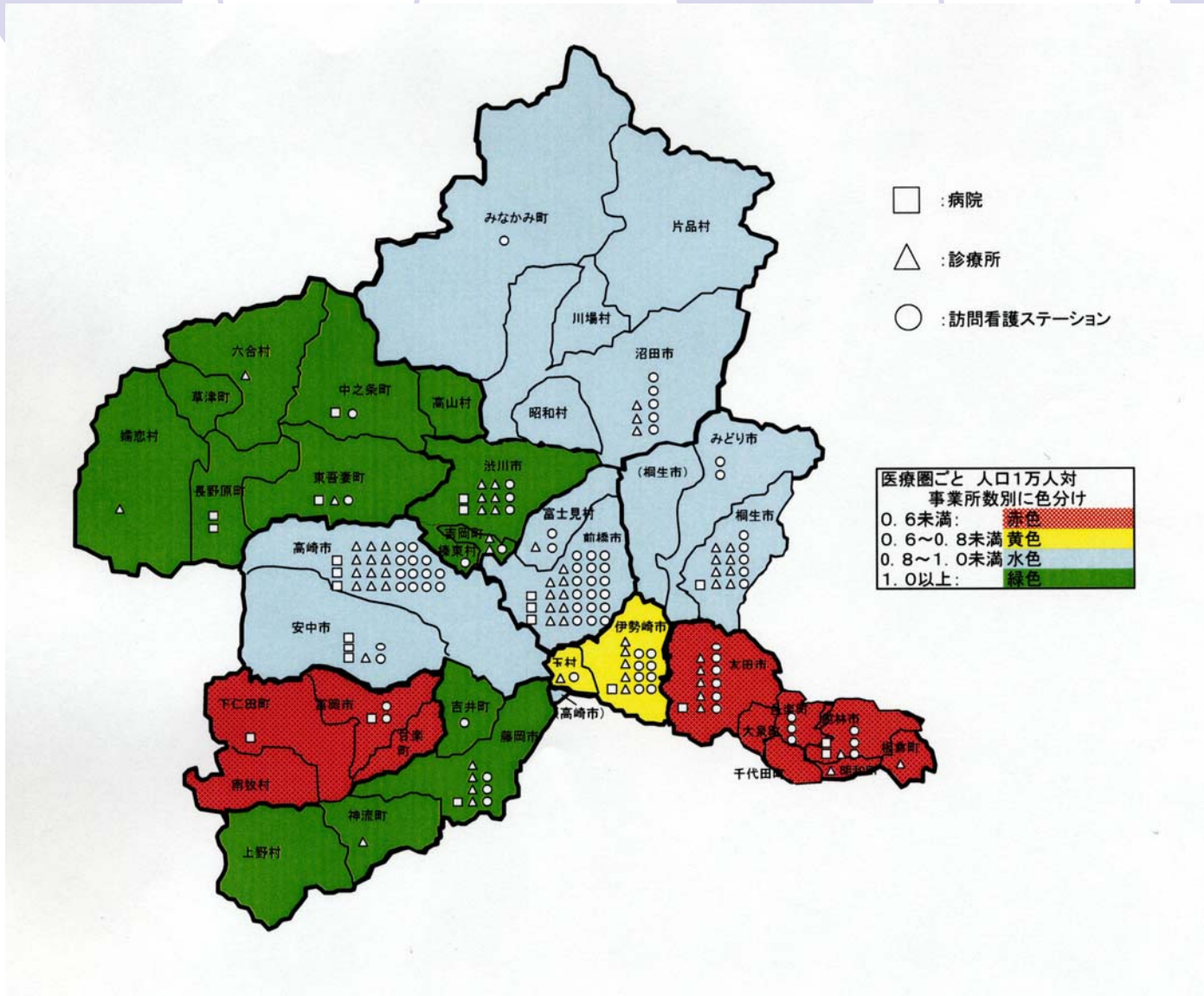
棚橋さつき(群馬県看護協会訪問看護ステーション
東京福祉大学)

後閑容子(岐阜大学医学部看護学科)

平成17年度「訪問看護に関する実態調査」

1. 目的
 - (1) 県内の訪問看護の現状を把握する
 - (2) 本県における訪問看護推進事業に関するニーズを把握する
2. 対象
 - 各訪問看護事業所管理者
 - 当初対象 325カ所
 - 内訳 { 病院 54
 - 診療所 182
 - 訪問看護ステーション 89
3. 調査期間 平成18年1月～2月

群馬県訪問看護推進協議会資料



在宅ホスピス

群馬県訪問看護推進協議会資料

	病院	診療所	訪看ST	計	%
1 実施している	1	3	15	19	13.3%
(実施人数)	0	9	27	36	—
2 今後、実施予定	0	2	2	4	2.8%
3 実施していない	18	45	57	120	83.9%
計	19	50	74	143	100.0%

がん化学療法

群馬県訪問看護推進協議会資料

		病院	診療所	訪看ST	計
対応	可能	5	17	45	67
	不可能	13	28	26	67
利用申込	有	0	8	13	21
	無	16	38	63	117
申込みを断ったこと	有	0	7	0	7
	無	16	36	65	117
不可能な理由	人手不足	5	7	11	23
	技術不足	3	5	15	23
	経営負担	0	1	3	4
	その他	2	5	4	11
研修の必要性	有	11	20	60	91
	無	3	22	6	31

がん終末期疼痛管理

群馬県訪問看護推進協議会資料

		病院	診療所	訪看ST	計
対応	可能	9	30	66	105
	不可能	10	18	13	41
利用申込	有	5	12	45	62
	無	12	36	32	80
申込みを断ったこと	有	1	6	2	9
	無	15	37	67	119
不可能な理由	人手不足	2	6	6	14
	技術不足	2	3	5	10
	経営負担	0	1	2	3
	その他	2	7	2	11
研修の必要性	有	13	17	56	86
	無	2	22	7	31

在宅ターミナル

群馬県訪問看護推進協議会資料

		病院	診療所	訪看ST	計
対応	可能	10	36	69	115
	不可能	8	16	7	31
利用申込	有	5	14	54	73
	無	11	35	20	66
申込みを断ったこと	有	2	3	2	7
	無	13	41	63	117
不可能な理由	人手不足	2	6	6	14
	技術不足	2	3	3	8
	経営負担	0	1	0	1
	その他	3	4	0	7
研修の必要性	有	14	22	52	88
	無	1	13	7	21

褥瘡管理

群馬県訪問看護推進協議会資料

		病院	診療所	訪看ST	計
対応	可能	18	43	77	138
	不可能	2	11	3	16
利用申込	有	10	23	72	105
	無	9	27	6	42
申込みを断ったこと	有	2	4	2	8
	無	16	43	72	131
不可能な理由	人手不足	2	5	4	11
	技術不足	1	1	0	2
	経営負担	1	0	1	2
	その他	2	4	1	7
研修の必要性	有	5	17	37	59
	無	10	17	17	44

胃ろう・尿管皮膚ろう管理

馬県訪問看護推進協議会資料

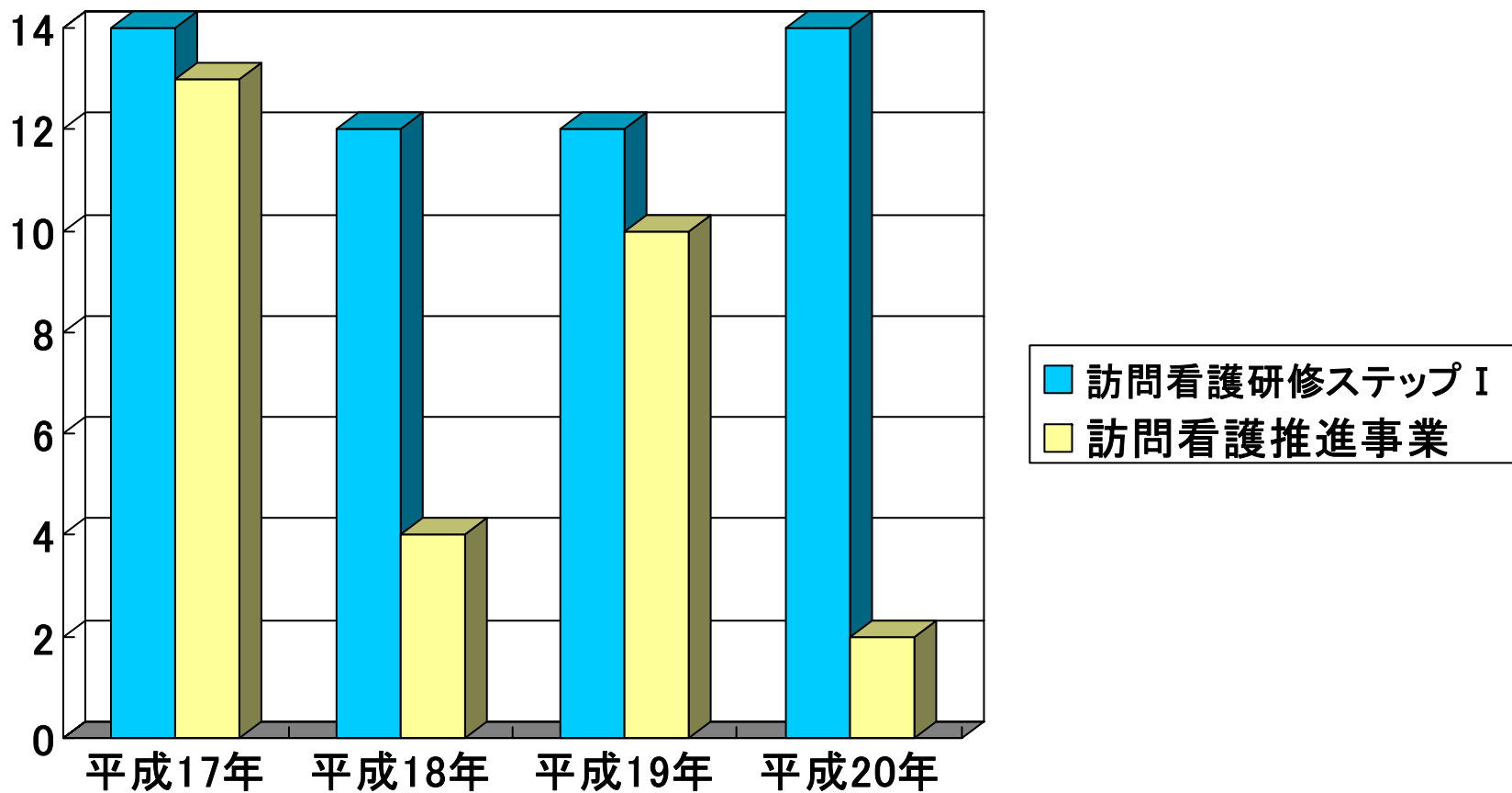
		病院	診療所	訪看ST	計
対応	可能	17	30	74	121
	不可能	3	16	6	25
利用申込	有	10	18	60	88
	無	9	28	16	53
申込みを断ったこと	有	3	7	5	15
	無	15	37	69	121
不可能な理由	人手不足	2	5	2	9
	技術不足	1	1	1	3
	経営負担	0	1	0	1
	その他	2	3	1	6
研修の必要性	有	4	20	35	59
	無	12	17	18	47

人工肛門・人工膀胱管理

馬県訪問看護推進協議会資料

		病院	診療所	訪看ST	計
対応	可能	14	27	75	116
	不可能	5	20	5	30
利用申込	有	6	11	52	69
	無	11	36	26	73
申込みを断ったこと	有	0	6	4	10
	無	16	36	67	119
不可能な理由	人手不足	2	4	2	8
	技術不足	1	1	1	3
	経営負担	0	1	0	1
	その他	2	4	04	6
研修の必要性	有	4	19	34	57
	無	9	19	22	50

群馬県内における主な研修事業



事業目的

1. 訪問看護ステーションに所属する認定看護師を地域においてネットワーク化し別法人の訪問看護ステーションに技術支援としてのコンサルテーションを行うことにより、訪問看護師の専門的技術の向上をはかる。

専門性の高い訪問看護技術を提供できる体制を整備し、在宅療養者の増加および各事業所における利用者拡大をはかる。

2. 地域における訪問看護ステーションの効率的・効果的な機能集約したネットワーク化のシステム構築を採る。



コンサルテーションを行う看護師

- ・緩和ケア認定看護師 1名

- ・皮膚・排泄ケア認定看護師 1名


領域(5つ)

「緩和ケア」「ターミナルケア」

「皮膚(ストーマ・カテーテル・スキントラブル)」

「排泄」

「褥瘡」



研究方法

1) モデル事業の実施準備

① モデル事業対象ステーションの設定

「緩和ケア」「ターミナルケア」「皮膚(ストーマ・カテーテル・スキントラブル)」「排泄」「褥瘡」の5つの領域においてコンサルテーションの希望の有無、期間等のアンケートを行い、参加希望のステーションを設定

② モデル事業内容の説明

③ 対象施設への事前調査票(介入前)の記入

④ 介入領域、期間等の設定

2) 実施方法

1. コンサルテーションを行うことの効果

- 5つの領域において電話、FAX、メール、同行訪問、または事業所全員のグループ介入
- 専門的技術の介入や教育としての講義

2. 訪問看護師の10分ごとのタイムスタディによる業務分析

調査項目・内容

1. コンサルテーションについて

コンサルテーションのニーズの有無・内容・
効果・システム構築・課題

2. コンサルティについて

コンサルを受けたことの変化・評価・実践に
向けての活用方法・希望

途中経過

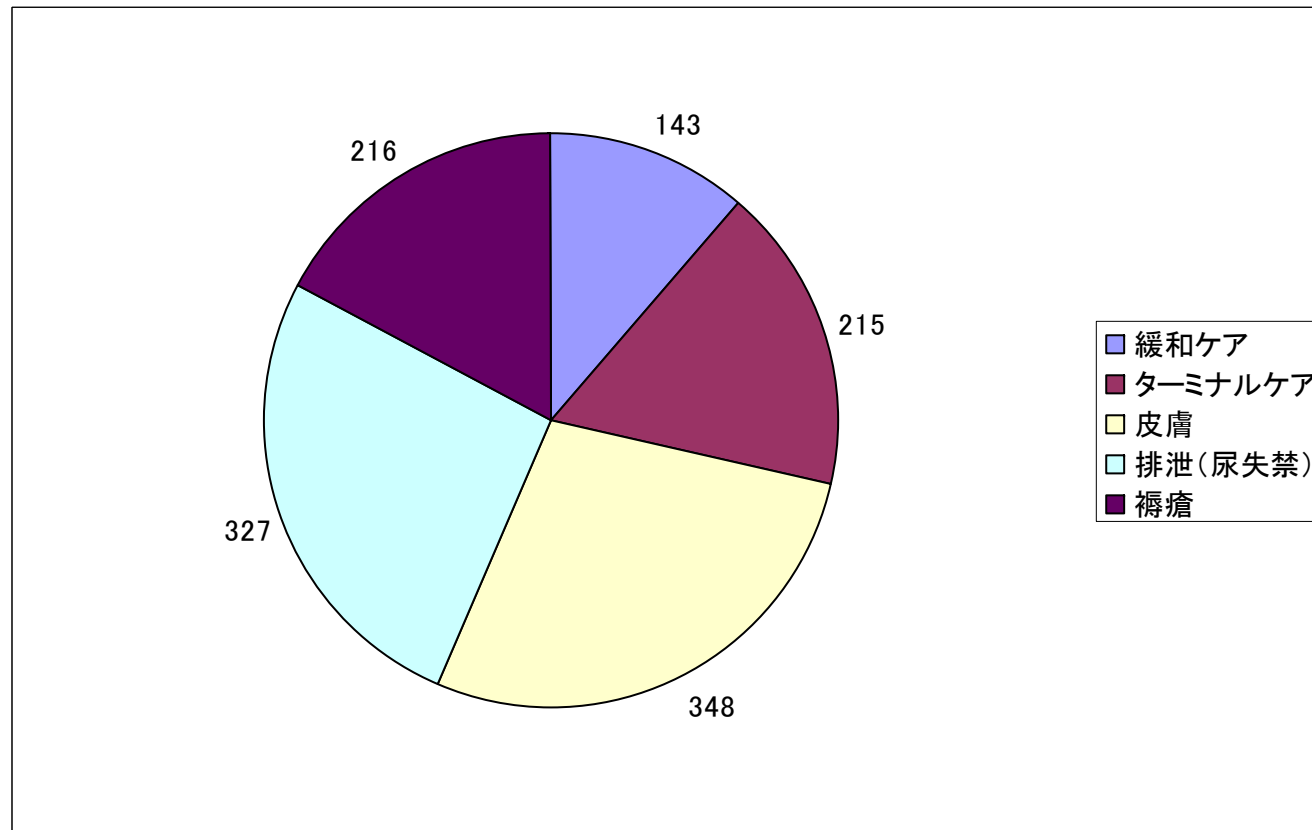
A decorative graphic consisting of two overlapping circles on the left and three separate circles on the right. The leftmost circle is solid light purple and contains the text '途中経過'. The second circle is hollow with a light purple outline. The three circles on the right are arranged horizontally: the first is solid light purple, the second is hollow with a light purple outline, and the third is solid light purple.

- 事前調査(アンケート)

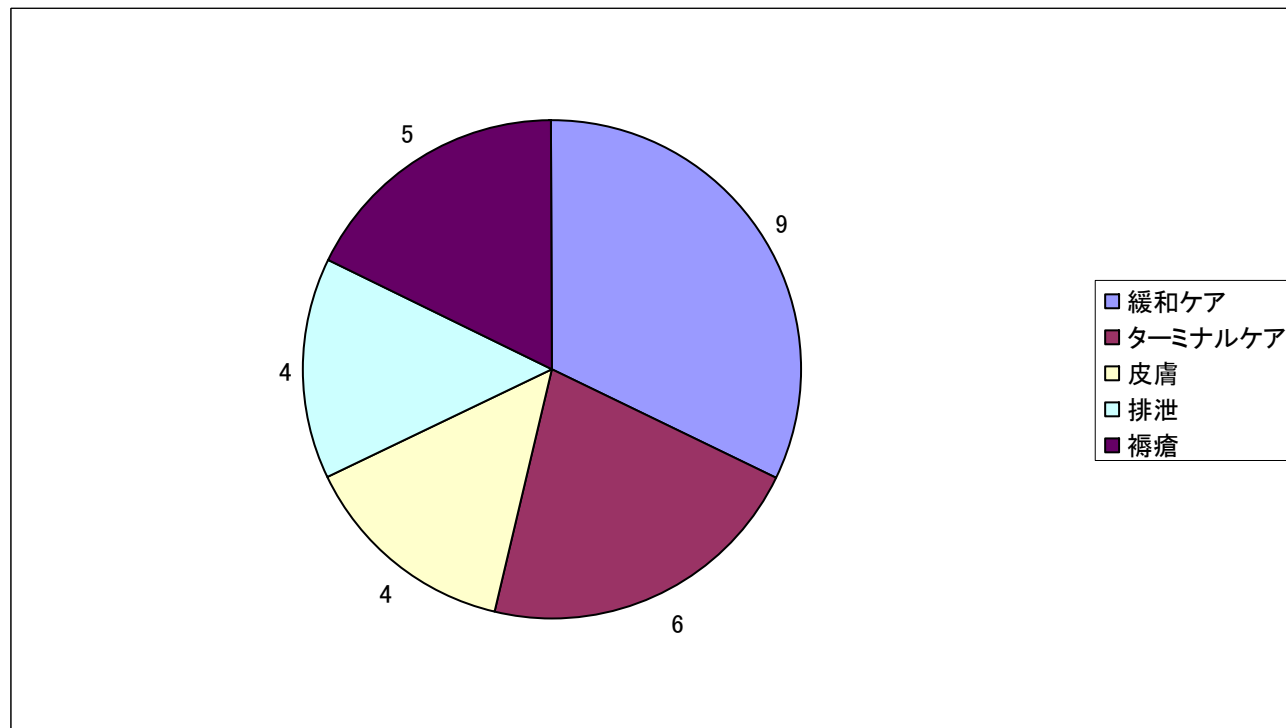
- 群馬県訪問看護連絡協議会に所属するステーションに郵送
88ヶ所(33ヶ所返信)・・・ 37.5%

- コンサルテーション希望 14ヶ所 …… 42 %

コンサルテーション対象利用者の実績(利用者数)



コンサルテーション事業参加希望有りの事業所数



コンサルテーション希望領域・内容

1. 緩和ケア

9ヶ所

内容： 研修、教育

看護師の資質向上を高めたい

2. 皮膚・排泄

9ヶ所

内容：教育、研修、同行訪問

ケアカンファレンス

途中経過

- 緩和ケア: 研修、教育の日の設定
- 皮膚・排泄ケア: 主治医、療養者の同意書の確認後、同行訪問等開始

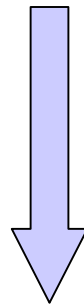
同行訪問 3ステーション(1回に約1時間半)

1ステーション: 同じ療養者宅に2回目を
同行訪問

2ステーション: メール、写真添付にての指導

期待される成果

1. 各事業所における専門性の高い技術が必要な利用者の受け入れの幅が広がる。
2. 訪問看護事業の拡大による経営安定
3. 他法人の事業所のネットワーク化の強化



「地域ニーズに対応、質を担保し、経営安定した訪問看護サービスの増加」